

2018 March

Vol.60

広島西医療センターNEWS

発行所:独立行政法人 国立病院機構 広島西医療センター

〒739-0696 広島県大竹市玖波4丁目1番1号 TEL.0827-57-7151(代) <http://www.hiro-nishi-nh.jp/>



■ P D C A 祭り2018.....	2
■ 患者さんの栄養管理をサポートしています!!.....	4
■ 救急医療研修会.....	5
■ 休日前立腺がん検診を実施しました.....	5
■ 第67回大竹駅伝競走大会.....	6
■ 院内看護研究発表会を開催して.....	7
■ 「神経・筋疾患」政策医療ネットワーク協議会.....	7
■ 中国四国ブロック研究発表会に参加して.....	7
■ 成人式・成人お祝い会.....	8
■ 編集後記.....	11
■ 外来診療担当医表.....	11
■ 2月特別療育「バレンタインズ朗読会」.....	9
■ 患者図書室から.....	10
■ 地域医療連携室実績報告.....	10
■ 栄養士のつぶやき②.....	10
■ ノロウイルス等食中毒予防衛生講習会&手洗いチェックを行いました!.....	11

病院理念「患者さんと共に」

■基本方針

1. 患者さんの意思の尊重と信頼関係の確立
2. 地域に密着した良質で安全な医療の提供
3. 予防医療への貢献
4. 医療の質の向上のための研鑽
5. 経営基盤の確立

■「患者の権利」宣言

1. 個人の尊厳の権利
2. 良質な医療を平等に受ける権利
3. 自分の受けている医療について知る権利
4. 自分の意見を表明し、自己決定する権利
5. 個人のプライバシーが守られる権利



公認キャラクター「にっしーくん」

広島西医療センター「PDCA祭り(毎日がPDCAサイクルじゃけ〜)」を開催して

臨床研究部長 高 蓋 寿 朗



国立病院機構では全国の病院において「PDCAサイクルに基づく医療の質改善プロジェクト」が展開されています。当院はいち早くこのプロジェクトに参加しただけでなく、独自のPDCAの活用実績があり、2017年1月には「第1回PDCA祭り」と称した報告会を開催し、その後も各部署でPDCAを用いた問題点の改善に取り組んでいます。

そして、2018年1月15日にPDCA祭り「やっぱし毎日がPDCAじゃけ〜!!」と称して、第2回の報告会を開催しました。

今回は第1回に報告した中から、継続して取り組んでいる課題5題に加えて、新規課題9題の参加がありました。

前回ははじめてと言うこともあり、準備に戸惑う部署も多く見られましたが、今回は各部署が淡々と準備を進め、それぞれがしっかりした成果を提示して下さいました。「PDCA祭り2018」当日は下記の様に開催されました。

1. 新規課題の中から優秀演題の事前選考

新規課題について、幹部職員による事前選考を行い、3題の優秀演題を選考。

2. 全課題のポスター発表

当日午前中から掲示を行い、各職員が閲覧。

3. 口演でのプレゼンテーション (17:30 ~)

継続課題5題+新規課題のうち優秀課題3題 計8題について、口演でプレゼンテーション、質疑応答。

4. 表彰式

聴講した職員全員の投票で最終順位を決定し、表彰。

表彰式に引き続いて、今年もケータリングによる新年会（ソフトドリンクのみ）を開催し、今回も和やかな雰囲気の中にPDCA祭りは無事終了しました。

どの課題も、各部署が悩んでいる問題点にしっかり取り組んで、その改善にPDCAサイクルの考え方を上手に応用していました。1円単位で経費の削減を考える涙ぐましい活動に職員の病院への愛情を感じ、患者さんの療養生活、退院支援など医療の質を向上するための真摯な姿勢に感動しました。

順位の決定は今年も難しいものになりましたが、アウトカム指標を定めて改善に取り組んだ薬剤部の「退院時指導件数の増加を目指して」が第1位を獲得しました。



会場の様子



栄養管理室の発表



放射線科の発表

課題に取り組んだ職員からは「PDCAサイクルを応用することで、問題点の改善が具体的に進んだ気がする」という声もあり、PDCAという考え方が着実に当院に根付いてきている事を実感することができました。

■継続課題部門

「あゆみ病棟 ご飯が美味しいでみんな元気!!

調理師考案お魚新メニューで満足度アップ、コストはダウン」

「TV室放射線検査における放射線診療従事者 頭頸部被ばく線量低減への取り組み」

「退院支援の取り組み Part 2」

「おむつの経費削減」

「退院時指導件数の増加を目指して」

栄養管理室

放射線科

看護部（一般病棟）

企画課

薬剤部

■新規課題部門

「病理組織検査増加のための取り組み」

「スポンジクッションの在庫確認について」

病理検査室

リハビリテーション科

清水 謙仁

「夏季における省エネの取り組み（「焼け石に水」作戦）」

「メンバーシップの役割を明確化し次世代を担うリーダーの育成」

「SPDカードは大切に取り扱いましょう！」

「1あゆみ オムツカートでキレイ・キレイ」

「純度100%のDrugを安全に準備すると人生楽しくなる?!!」

「入浴介助時間の短縮への取り組み」

「若葉病棟の高柵ベッド廃止に向けての取り組み

～患者の尊厳・意向・障害の特性にふさわしい生活の実現のために～

企画課

看護部 副看護師長会

看護部（外来）

1 あゆみ病棟

2 あゆみ病棟

3 あゆみ病棟

若葉病棟



結果発表



今年の最優秀賞は薬剤部でした



新年会



新年会

患者さんの栄養管理をサポートしています!!

NST医師 檜垣雅裕 / NST専従管理栄養士 坂根良和 (NST専門療法士)

■ご存じですか？ NST

NSTとは栄養サポートチーム (Nutrition Support Team) の略称です。専門職種からなるチームで、患者さんの栄養状態を評価し、一人一人に合った栄養管理を提案して、栄養状態を改善し、早期に回復や退院ができるようサポートしています。

【チームメンバー】

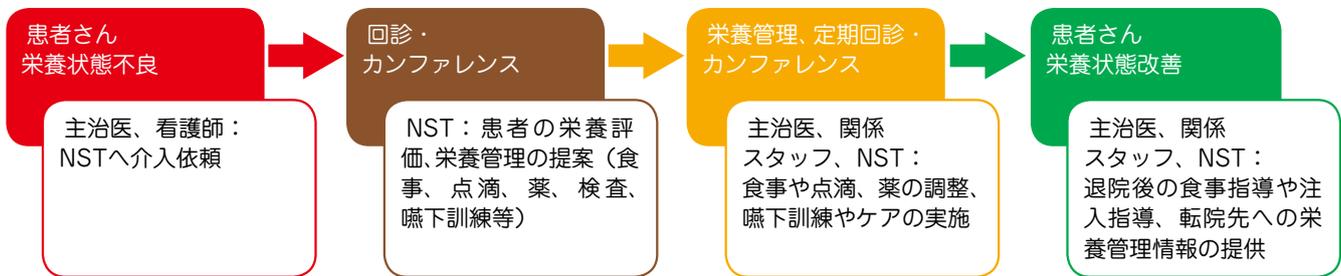
医師、看護師 (摂食・嚥下障害看護認定看護師、各病棟看護師)、薬剤師、専従管理栄養士、臨床検査技師、言語聴覚士



■主な活動

1. 栄養サポート：回診・カンファレンス 週1回 (水曜15:00～)

【サポートの流れ】



2. NST院内勉強会 月1回 (第3水曜12:15～)

職員の栄養管理に関するスキルの向上を目指して、勉強会を実施しています。

【勉強会テーマ (一例)】

- ・ 栄養評価、経腸栄養、静脈栄養について
- ・ 病態別の栄養管理方法 (摂食・嚥下障害、褥瘡、腎不全、がん、高齢者・認知症等)
- ・ 栄養管理に関わる検査について



■増えています！ NST専門療法士

当院には、一般社団法人日本静脈経腸栄養学会認定のNST専門療法士の資格を有する職員 (薬剤師、管理栄養士、作業療法士等) が複数在籍しています。今年度も認定試験に3名 (管理栄養士、言語聴覚士) が合格しました。各職種の専門性を活かしながら、今後もチームでより良い栄養管理の提案をしてまいります。



広島西医療センター救急医療研修会

副院長 岩崎 洋一



当院は、大竹市を中心に廿日市市、山口県西部（岩国市、和木町）の圏域の2次救急を担当しておりますが、今回、大竹市消防救急隊との連携を深め、当地域の病院前救護がより円滑に運営されることを目的に、合

同での研修会を開催しました。



研修会の様子

さる2月27日、エスポワールおおたけにて開催された研修会には、大竹市消防から14人の救急隊員の方々が、当院から23人の医療スタッフ（医師、看護師、事務）が参加しました。

大竹消防からは「多数傷病者」の搬送事例が、当院からは「慢性腎不全患者」の搬送事例の報告があり、それぞれの立場からの、検証、検討を行いました。「多数傷病者搬送事例」においては、H28年度に当院が担当施



倉恒医師による症例検討

設として開催した、「広島県集団災害医療救護訓練」が大いに役立ち、スムーズな初期医療が行えたと感じました。事例検討会終了後

には、いわゆる「顔の見える関係」を築くことを目的に懇親会を開き、それぞれの立場の垣根を超えた懇親ができました。

今回の研修会を通して、大竹市の病院前救護体制が今後さらに実効的となり、結果として地域住民の方々への救急医療がより円滑になるよう期待しております。



消防隊の発表

休日前立腺がん検診を実施しました

企画課医事

前立腺がんの早期発見を目的に、今回で8回目となる休日前立腺がん検診を3月4日(日)に実施しました。平日は忙しく、なかなか検診を受けられない方も気軽にお越しただけよう毎年3月の第一日曜日に開催しております。検診内容は、前立腺腫瘍マーカー（血液検査）と下腹部超音波検査です。たくさんの方に受検いただき、改めてがん検診への関心の高さを感じました。

また、11時からは浅野泌尿器科診療部長による講演会も開催しました。「健康と体温」という親しみやすい演題で、検診に来られた方だけでなく女性の方にも聴講していただくことができました。身近でわかりやすい内容となっており、あっという間の1時間でした。

ご来院いただいた皆様には、ご不便をおかけしたこともあるかと思いますが、ご参加いただきありがとうございました。



浅野部長の講演も大盛況でした



第67回大竹駅伝競走大会 新春の大竹路でチーム最高記録を更新!

肝臓内科
福原 崇之



1/14に新春の大竹路を駆ける大竹駅伝（5区間、23.6km）が開催されました。我々、チーム 広島西医療センターも参加して参りました。今年で16年連続の出場です。昨秋に「その1秒を削り出せ！」をスローガンに掲げてチームを立ち上げ（どこかで聞いたことがあるような…）、勤務後に練習会を行ってきました。年末と年始の2回に分けて行った厳しい予選会（5kmタイムトライアル）の記録でメンバー選考を行いました。その結果、今年のメンバーは1区：福原（肝臓内科）、2区：小幡（看護部）、3区：齊藤（外科）、4区：千田（事務部）、5区：亀谷（総合診療科）で臨みました。「その1秒を削り出せ！」を合言葉にたすきをつなぎ、記録は1時間26分10秒（一般男子38チーム中22位）!!チームの過去最高記録を2分以上更新することができました。昨年の記録からは5分以上短縮したので、まさに1区でその1分を削り出したこととなります。サポートメンバーを含めチーム一丸となったことで、良い記録を出すことができたのではないかと実感しています。

沿道で応援して下さいました皆さん、本当にありがとうございました。また、サポートメンバーとして参加してくれた職員、また大会救護班として参加して下さった当院の看護師さんも本当にお疲れさまでした。多くの方々がこの駅伝を支えてくださっていることに感謝し、来年はさらに上を目指して精一杯走りしたいと思います。

大会同日に選手・サポートメンバー・救護班で開催した打ち上げは、大変な盛り上がりで、非常に楽しい1日となったことは言うまでもありません。来年こそは選手として参加してみたいという人（2チーム+女子チームもできるといいなあ）、サポートメンバーとして参加したい人も大歓迎ですので是非声をかけて下さい。



厳しい予選会の様子

	第1区	第2区	第3区	第4区	第5区
距離	5.9km	2.8km	5.9km	5.5km	3.5km
走者	福原 崇之	小幡 孝志	齊藤 竜助	千田 智史	亀谷 貴浩
タイム	21:38	11:28	20:43	20:17	11:59



1区1分を削り出した黄金メンバー



サポートメンバーの皆さんもありがとうございました!

院内看護研究発表会を開催して

看護部教育委員会

平成29年度 院内看護研究発表会を平成30年1月29日・30日に開催いたしました。発表会当日は、院長先生をはじめ、事務部長、統括診療部長にもご出席いただき学会さながらの発表会となりました。

初めての座長、発表者緊張の中で始まりましたが、活発な意見交換もありお互いの成果を感じる時間となりました。

今までは、院外の講師を依頼し研究をまとめてきましたが、今年度は、教育委員を中心に研究をまとめるという新しい取り組みを行いました。教育委員は、まとまるだろうか、指導できるだろうかと不安もありましたが、成果をまとめ、発表することができ感慨深いものがありました。今後は、院外の学会発表に向けて準備していきたいと思えます。



- 東 2 病 棟 肩腱板断裂術後患者の退院後の日常生活における実態調査 ー日常生活動作の見直しー
- 東 3 病 棟 ビデオ閲覧による化学療法中の血液がん患者の筋力に及ぼす影響
- 西 2 病 棟 配置換えした看護師の経験の強みと弱みの分析 ー職業経験評価尺度を用いてー
- 西 3 病 棟 看護師の退院支援に対する意識の評価 ー在宅看護の質自己評価尺度を使用してー
- 1あゆみ病棟 神経難病病棟における患者ー看護師間のコミュニケーション困難要因の検討
- 2あゆみ病棟 神経筋難病患者の体位変換の動画が新人・配置換え看護師にもたらす効果（経過報告）
- 3あゆみ病棟 神経難病病棟における看護師の看護実践能力の現状 ー看護問題対応行動自己評価尺度を用いてー
- 1 若葉病棟 A病院に勤務する看護師のストレスの現状と要因
- 2 若葉病棟 重症心身障害児(者)病棟で働く看護師の気持ちの変化とそのきっかけ ー重症患者と接する上で心に抱く感情や考え方ー
- 3 若葉病棟 重症患者病棟における摂食嚥下の教育の現状と課題 ー看護師による摂食・嚥下障害看護質評価指標を用いた質評価ー
- 手 術 室 手術室に関わるスタッフの災害初期対応についての意識調査

平成29年度「神経・筋疾患」政策医療ネットワーク協議会 中国四国ブロック研究発表会に参加して

1 あゆみ病棟 看護師長 中村 美由樹（座長）

2月下旬の奥出雲には、まだまだ残雪がありましたが、松江市内は天候もよく春の訪れを感じる一日でした。神経・筋疾患の患者は、残存機能が衰え、自分自身で行っていた事ができなくなるという病状進行に直面します。その中で、各職種が「その人らしく」をテーマに、環境調整、コミュニケーション方法、終末期を安楽に過ごすための方法などを考え、取り組んでいることを実感し、当院でも患者に寄り添う看護を大切にしていきたいと思えました。



1 あゆみ病棟 療養介助専門委員 倉迫 雄也（演者）

今回、「病棟全体で活用できるレスパイト入院用情報共有シート」を作成したことを報告しました。これは、定期的なレスパイト入院の円滑な受け入れを目的としたもので、患者情報に合わせて更新することで、より快適な入院生活につなげることができます。現在、情報共有シートの作成・活用が療養介助専門員の間にとどまっていることから、看護師との連携を含めた運用方法の検討が今後の課題であると感じています。

また、療養介助専門員が関わる摂食嚥下や余暇活動について、他病院から興味深い発表がありました。療養介助専門員の活動にも、様々な可能性があることを感じ、大変勉強になりました。発表全般を通して、他職種との「連携」があってはじめて、患者の疾患の特性や個性を踏まえた対応ができるのだと感じました。



祝 成人式・成人お祝い会



療育指導室 児童指導員
清 中 万理乃



平成30年1月17日(休)に、慢性病棟に入所されている利用者1名の方の「成人式・成人お祝い会」が開催されました。昨年度に引き続き、「成人式」では来賓として、大竹市市長、大竹市社会福祉協議会会長、広島西

特別支援学校学校長、あゆみ病棟自治会会長、わかば保護者会会長の方々をお迎えし厳粛な雰囲気の中とりおこなわれました。

新成人者は、スーツを着用し赤いリボンをつけ、いつもと違う雰囲気に緊張した面持ちで会場に入られましたが、式が進行するにつれ表情も和らいできました。

成人式後は、家族写真や来賓の方々、病院スタッフとの集合写真を撮り、記念に残るものとなりました。



GOGOステーション

「GOGOステーション」を行いました。新成人者と仲の良い利用者の方に特別DVDを作成して頂き、素晴らしい映像と共にアニメ：ワンピースの「ウィーアー！」を披露して頂きました。2曲目に映画ドラえものの「ひまわりの約束」を、ピアノとギターの生演奏にのせて、お祝いに駆けつけて来てくれた皆さんと一緒に歌っていただきました。会場には、お祝いに駆けつけることが出来なかった利用者の皆さんが、療育で作成してくれた、たくさんのひまわりが咲き乱れ、とても華やかになりました。

最後に、新成人者からお母様へプレゼントとしてメッセージを送られました。とても良いメッセージで、会場が感動に包まれました。

成人お祝い会後は、グループ療育「写真愛好会」で活躍されている利用者の方に集合写真を撮って頂きました。

来賓の皆様、ご家族、慢性病棟の利用者の皆様、病院スタッフと共にこの日を過ごし記念に残る成人式・成人お祝い会が実施できました。この日を一つの節目にこれからの新しい門出をみんなで盛大にお祝いできたことをうれしく思います。ありがとうございました。



成人式

成人式に引き続いて「成人お祝い会」を行いました。まず、主治医の古川小児科医師、お母様よりメッセージを頂きました。他にもたくさんの病院スタッフからメッセージを頂き、会場内に掲示させていただきました。その後は、新成人者の希望もありカラオケ「GOGOス



成人お祝い会



2月特別療育「バレンタインズ朗読会」

療育指導室 保育士 二階 琴 絵



2月8日(木)に若葉各病棟デイルームにて、特別療育「バレンタインズ朗読会」を行いました。今年のテーマは、「バレンタイン」ということで、甘酸っぱい恋にまつわるお話を語り部と演者に分かれて披露しました。

まず一作品目は、『白いうさぎと黒いうさぎ』という作品で、森の中に住んでいるオスのうさぎとメスのうさぎ2匹の恋物語でした。最後、オスうさぎがメスうさぎにそっと手を差し伸べる場面では心がほっこりし、皆さん微笑んでおられました。そして二作品目は、『だいすき』という作品で、月に見立てた女性を男性が想い焦がれる様子をつづった物語でした。三作品目は『ハッピーバレンタイン』という作品で、女の子と男の子のバレンタイン当日の心情を描いた作品でした。劇中は、声を出して笑っておられる方、じっと聞き入っておられる方など利用者の方々の反応は様々で、朗読会を楽しんでおられる様子がみられました。

そして最後は雰囲気さがらりと変わり、「バレンタインデー・キッス」の曲に合わせてバレンタインズダン

サーが登場！利用者の方々と一緒に踊りを楽しみました。「バレンタインデー・キッス」の曲をよく知っておられる方が多く、音楽が流れ出すと笑顔になられる方、曲に合わせて一緒に踊られる方、声を出して歌われる方など、各病棟ともとても盛り上がっていました。バレンタインをテーマにした内容が久しぶりだったので、利用者の方々の反応がとても新鮮でした。

今回は、各若葉病棟デイルームで行い、あゆみ病棟の利用者の方にも参加していただき、バレンタインの季節を感じながら楽しいひとときを過ごすことができました。



白いうさぎと黒いうさぎ



だいすき



ハッピーバレンタイン



みんなで「バレンタインデーキッス」を踊りました



患者図書室から



～新生活のストレスに この本をどうぞ～

春ですね。この時期は入学、進級、お引越しなど、生活環境が大きく変わり、心も体も緊張します。子どもも大人も、新しい環境に慣れるのに大変。気付かないうちにストレスをため込み、心身にさまざまな影響を及ぼす人もいます。

そんな毎日を元気に過ごすために、おススメの本をご紹介します。

皆さんの新生活がすばらしいものになりますように！

※「自分の居場所がない」と感じたときに読む本 水島広子(精神科医・医学博士)著 かんき出版
不安が消える！まわりの評価・対応にいちいち動じない！「対人関係療法」の第一人者が教える人生がラクになるコツ

※すぐわかる 自律神経の整え方 主婦の友社 編 主婦の友社
ストレスを背負い込みやすく不安なあなたに、元氣とゆったりした気分を与える対策集

※うつヌケ 田中圭一 著 KADOKAWA
うつトンネルを抜けた人たち「私もこうして“うつ”をぬけました」共感の声、続々!!
うつ病脱出コミック!!

※マンガでわかる ココロの不調回復 食べて うつぬけ 奥平智之 著 いしいまき イラスト 主婦の友社
ココロが楽になる食べ方ガイド。イライラ、疲れはもちろん、うつ、パニック障害など劇的に改善！

※100歳の精神科医が見つけた こころの匙加減 高橋幸枝 著 飛鳥新社
頑張りすぎず、自分を甘やかさずすぎず。我慢しすぎず、他人を頼りにしすぎず。毎日を穏やかに
“ちょうどよく” 生きるための40の真理

※「死ぬくらいなら会社辞めれば」ができない理由 ゆうきゆう(精神科医) 監修・執筆協力 汐街コナ 著 あさ出版
その仕事、命よりも大切ですか？すべての人が共感する。自分の人生を生きるために必読の一冊。
NHK、毎日新聞、産経新聞、ハフィントンポストで紹介され話題になった過労死マンガを書籍化！

※社交不安症がよくわかる本 貝谷久宣(医療法人和楽会理事長) 監修 講談社
人と接するのが怖い、視線が気になる…恐怖を生み出す元となる不安をなくすには。
病気の正体から最新治療法までを徹底解説！

※うつ病の人に言っていないこと・いけないこと 有馬秀晃(品川駅前メンタルクリニック院長) 監修 講談社
家庭や職場での場面別対応例が満載。うつ病の人に「がんばって」はホントに禁句？
タブーな言葉から回復を後押しする励まし方まで。うつ病の長期化、再発を防ぐ接し方を徹底解説！

※摂食障害と寄りそって回復をめざす本 実践編 切池信夫(大阪市立大学名誉教授 日本摂食障害学会理事長) 監修 日東書院
病気を正しく理解して回復をめざそう！自分の病気を知り、それを認め家族の協力のもと自分で治そう！
努力してダメなら医療機関へ行こう！

※がんばらない介護 橋中今日子(理学療法士) 著 ダイヤモンド社
だいじょうぶ。もっとラクなやり方、ありますよ。認知症の祖母、重度身体障がいの母、知的障がいの
弟を21年間、一人で介護してきた理学療法士だから知っている、介護の心を軽くする36のコツ



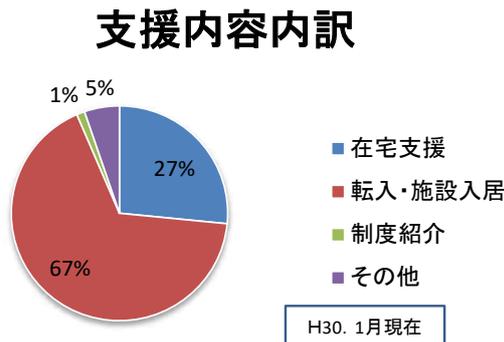
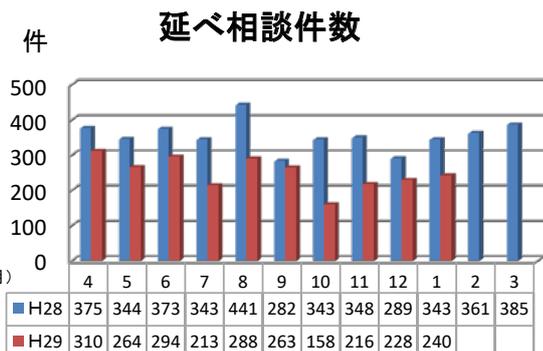
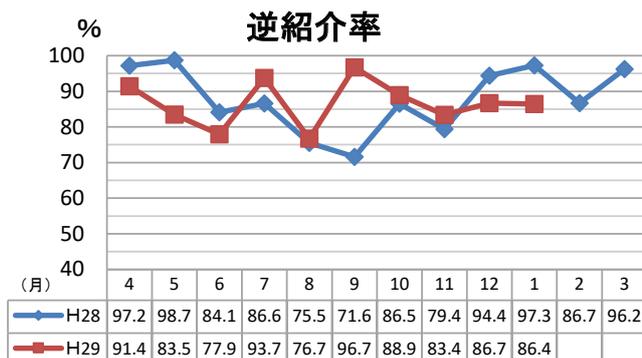
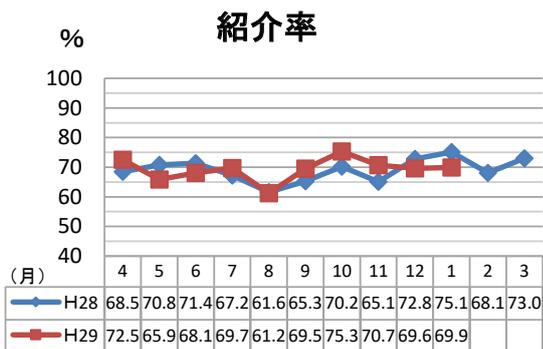
患者図書室

売店

正面玄関

開館時間：月～金 10時～15時（土日祝日をのぞく） 場 所：正面玄関から入って直進70m先

地域医療連携室実績報告





春の味、筍のお話

竹秋になり、もうすぐ竹の葉も黄色くなってくる頃だなと感じますが、この時期、竹といえばやはり筍。おいしい春の味覚の一つですね。

ところで、スーパーなどで売っている筍の水煮についている白いもの。みなさんはどうしていますか？

あれは、ごみでもカビでも異物でもなく、チロシンというアミノ酸の一種で、水に溶けにくい性質をもつため茹でて冷めると結晶となって筍に析出してくるんです。なので、あの白い物体はきれいに洗い流さずに食べても何も問題ありません。

筍の独特のえぐ味もこのチロシンが酸化してできたホモゲンチジン酸という成分によるものなんですよ。

チロシンはドーパミンやノルアドレナリンを作る材料になるため、集中力を高め、やる気を出す効果やストレスや疲れを和らげる効果があります。

またチロシンは、脳のエネルギー源である糖質と一緒に食べると脳への吸収がアップするので、筍料理の代表「筍ご飯」はおすすめです。

しかし、チロシンから作られるノルアドレナリンは過剰になると血圧が上がる可能性があるため、高血圧の方は摂りすぎには注意しましょう。



ノロウイルス等食中毒予防 衛生講習会&手洗いチェックを行いました!

栄養管理室長 奥 悟

毎年、栄養管理室では食中毒予防を目的として、衛生講習会と手洗いチェックを行っています。今年もノロウイルス食中毒が流行する1月～2月にかけて、調理師、栄養士、洗浄・配膳委託業者職員を対象に実施しました。

講習会では洗剤メーカーのエコラボさんより、ノロウイルスの特性や感染ルート、食中毒予防方法を学びました。ノロウイルスは少量のウイルス（10～100個）でも感染・発症する程感染力が強く、予防が重要で、予防には加熱、手洗い、自己の健康管理が有効であることを再認識しました。手洗いチェックは汚れに見立てた蛍光溶剤を手に塗って、いつも通りの手洗いをした後、ブラックライトにかざして溶剤（汚れ）の残った箇所を確認しました。各自の手洗いの癖が一目瞭然であり、手洗いで改善する必要がある箇所を把握しました。

ノロウイルス等の食中毒は年間通して全国各地で発生しており、患者さんの食事に関わる者として他人事ではありません。日々、安全な食事や衛生的な食器を提供するよう努めてまいります。



ノロウイルスについての学習



衛生講習会



手洗いの癖をチェック

■編集後記

冬季オリンピックが開催され日本代表の活躍に一喜一憂された方も多いと思います。

1月に開催された大竹駅伝に当院駅伝チームも参加し、また、協賛病院として3名の看護師に救護班として協力していただきました。また、消防との合同研修会を行うなど地域に根差した病院となるよう日々奮闘しています。

また、PDCA成果発表や看護研究発表など活発に報告会を行っており、学術面での向上にも絶えず取り組んでおりますのでご覧ください。
(事務部長 大谷 伸次)

外来診療担当医表

広島西医療センター

広島西医療センターホームページでも紹介しています。ご利用ください。
<http://www.hiro-nishi-nh.jp/>

※受付時間 午前8時30分から午前11時まで

平成30年3月1日現在

		月	火	水	木	金	備考
総合診療科	初診	亀谷 貴浩	伊藤やよいこ	溝岡 雅文	生田 卓也	亀谷 貴浩	下記の専門領域以外の新患
	再診	AM角野 萌(血液)	AM亀谷/PM生田	AM生田 卓也	AM亀谷 貴浩	/	
内科	1診	呼吸器/血液	広大(呼吸器)	宗正昌三(血液)②	八尾尚幸(血液)①	広大(呼吸器)	八尾尚幸(血液)②
	2診	消化器/肝臓	藤堂祐子/山中秀彦(消化管)	福原崇之(肝臓)	山中秀彦(消化管)	福原崇之(肝臓)	藤堂祐子(消化管)
	3診	消化器/内分泌代謝/血液	鼻岡理恵(消化器)	太田逸朗(内分泌代謝・血液)	太田逸朗(内分泌代謝・血液)	太田逸朗(内分泌代謝・血液)	角野 萌(血液)
	4診	循環器/血液	楠 正美(循環器)	角野 萌(血液)①	下村壮司(血液)②	下村壮司(血液)②	宗正昌三(血液)③
	5診	循環器	藤原 仁(循環器)	中村秀志(循環器)	藤原 仁(循環器)	中村秀志(循環器)	藤原 仁(循環器)
	6診	腎臓/循環器/血液	倉恒正利(腎臓)	倉恒正利(腎臓)	楠 正美(循環器)	高蓋寿朗(血液)①	広大(血液)①
神経内科	1診	村尾 智美	渡邊千種(物忘れ)(第2・4・5)	渡邊 千種	牧野 恭子	檜垣 雅裕	予約制
	2診	牧野恭子(パーキンソン病)	村尾智美(第1・3)	村尾 智美	檜垣雅裕(頭痛)	渡邊千種(筋疾患)	予約制 PM
C A P D 外来		倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	倉恒 正利	予約制 PM
インスリンポンプ外来		太田 逸朗	/	/	/	太田 逸朗	予約制 PM
禁煙外来		/	担当医	/	/	/	PM2~4 予約制
小児科	一般外来	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎	金子陽一郎	
	専門外来	予防接種※	慢性外来	乳児健診	慢性外来	/	PM ※は月曜日が休日の場合火曜日
小児科	小児脳ストロフィー	伊藤明子・古川年宏	伊藤明子・福田清貴	伊藤明子・古川年宏	伊藤明子・古川年宏	伊藤明子・福田清貴	予約制
	重症心身障害	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	河原 信彦	
	発達外来	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	
	小児心身症	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	湊崎 和範	
補装具		/	/	/	/	木村(第2・4)	予約制
外科	初診	石崎 康代	今岡 泰博	嶋谷 邦彦	齊藤 竜助	嶋谷/今岡/石崎/齊藤	金曜日交代制
	再診	嶋谷 邦彦	齊藤 竜助	石崎 康代	今岡 泰博		
整形外科	初診	岩崎 洋一	藤原 祐輔	永田 義彦	/	糸谷 友志	木曜日手術日
	再診	糸谷友志/(永田義彦)	永田 義彦	岩崎 洋一	/	永田 義彦	
	再診	藤原 祐輔	糸谷友志(岩崎洋一)	糸谷友志/(藤原祐輔)	/	藤原祐輔/(岩崎洋一)	
泌尿器科	1診	浅野耕助/福島貴郁	浅野 耕助	浅野 耕助	藤井 慎介	浅野 耕助	
	2診	長坂 啓司	福島 貴郁	長坂 啓司	福島 貴郁	長坂 啓司	
産婦人科		新甲 靖	新甲 靖	/	新甲 靖	/	予約制
皮膚科		稲束有希子	稲束有希子	/	稲束有希子	稲束有希子	水曜日手術日
眼科		広大医師AM	/	/	/	/	第2・第4月曜日

●予約窓口●

- ・患者さんからの直接予約・予約変更は、平日13時~16時までに予約センターへご連絡下さい。
- ・医療機関からの予約 (CT・MRI 含む) は、地域医療連携室へご連絡下さい。
- ・予約窓口がわからない場合も、地域医療連携室にご連絡下さい。

糖尿病教室を開催しております

参加ご希望の方は、あらかじめ予約をお願いいたします (当日予約可能です)。

問い合わせ先: 栄養管理室(0827)57-8192

■病院代表電話番号 TEL (0827)57-7151

■予約センター(直通) TEL (0827)59-0251

■地域医療連携室

ダイヤルイン (0827)57-7183 (内線2140)

FAX (0827)57-7701